

あさみどりの会 平成29年度事業報告

社会福祉法人の制度改革に伴い、29年度より新たな理事会及び評議員会となり新体制がスタートした。3年前より法人統括体制を進めてきた中で、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」については準備を整えてきているところである。また「地域における公益的な取組を実施する責務」に関しては、あさみどりの会が長年取り組んできているボランティアの育成や心身障害問題を考える集いなどの研修事業等の社会啓発活動の内容やメニューをより充実させていくことが必要だと考える。

人材育成や人材確保については、近年社会福祉法人の大きな課題となっているが、あさみどりの会としてはこの29年度は秋の法人全体研修での実践発表の継続、支援現場の責任者（主任・主事等）へのOJTの意識づけ、支援者養成講座の継続実施などの取り組みを重ねた。今後の課題としては、グループホーム利用者の増加に伴い夜間支援等の体制を少しずつ整えてきたことで、有期契約職員数が増えてきており、そうした職員への研修の実施などが挙げられる。また、有期契約職員が増えてきたことで、支援現場での正規職員の専門性及び統合性の強化も急がれる。

各成人事業所の利用者及び家族に関しては29年度を含めてここ数年、全体的に安定した状況が見られ、長年の支援の積み重ねが利用者の状態（発達）に現れてきている。さわらび園に関しては、29年度当初から新入園児が園児全体の半数を超える状態でのスタートだったが、子どもが少しずつ安定してさわらび園で過ごせるようになり、それと共に保護者の意識の変化も現れ、年度半ばで18名の新入園児の内、14名が通園継続の希望を出された。

法人全体の運営としては、29年度決算及び30年度予算で約10億円に迫る規模となり、法人が大きくなるにつれ、利用児者及びその家族、職員、ボランティアなど、一人ひとりの顔が見える療育及び支援が難しくなっている状況が出てきている。そのため運動体としてのあさみどりの会の組織再編（法人間連携を主としたグループ化）を考える時期にきている。その最初の取り組みとしてわらび福祉園を主体とした新法人の設立（法人分割）について3月の理事会及び評議員会で承認を得、32年度(2020年度)の設立に向けて動き出すことになった。

1 組織強化

(1) 理事会

- ①開催日時 平成29年5月26日（金） 午後6時から午後8時まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 畠村善照 島崎徹也 島田修三 迫分伸夫
(欠席理事) 椿泰廣
出席監事 菅沢豊
(欠席監事) 小林博義
議 事 第1号議案 平成29年度予算の一部補正について
第2号議案 平成28年度事業報告について
第3号議案 平成28年度決算について（監事監査報告含む）
第4号議案 定款・諸規程の改正について
第5号議案 その他について
- ②開催日時 平成29年6月19日（月） 午後6時から午後7時まで
開催場所 さわらび園3階カウンセリングルーム
出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 迫分伸夫 椿泰廣 島田修三 畠村善照
出席監事 菅沢豊
(欠席監事) 小林博義
議 事 第1号議案 理事・監事の選任について（評議員会選任結果報告）
第2号議案 理事・監事の就任承諾の手続き
第3号議案 理事長の互選について
第4号議案 その他（理事長専決事項含む）
- ③開催日時 平成29年8月14日（月） 午後5時30分から6時30分まで

- 開催場所 さわらび園 3階カウンセリングルーム
 出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 椿泰廣
 (欠席理事) 島田修三 畠村善照
 出席監事 小林博義 菅沢豊
 議 事 第1号議案 さわらび園放課後等デイサービス事業廃止について
 第2号議案 諸規程(運営規程等)の改正について
 第3号議案 わらび福祉園修繕計画について
 第4号議案 その他について
- ④開催日時 平成29年11月13日(月) 午後6時から7時40分まで
 開催場所 さわらび園 3階カウンセリングルーム
 出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 島田修三 椿泰廣
 (欠席理事) 畠村善照
 (欠席監事) 小林博義 菅沢豊
 議 事 第1号議案 平成29年度予算の一部補正について
 第2号議案 諸規程の改正について
 第3号議案 その他について
- ⑤開催日時 平成30年3月15日(木) 午後6時から7時50分まで
 開催場所 さわらび園 3階カウンセリングルーム
 出席理事 後藤秀爾 島崎徹也 追分伸夫 椿泰廣 島田修三 畠村善照
 出席監事 菅沢豊
 (欠席監事) 小林博義
 議 事 第1号議案 平成29年度予算一部補正について
 第2号議案 平成30年度事業計画について
 第3号議案 法人分割について
 第4号議案 平成30年度予算について
 第5号議案 平成30年度法人内人事について
 第6号議案 諸規程の改定について
 第7号議案 その他報告事項等について

(2) 評議員会

- ①開催日時 平成29年6月9日(金) 午後6時から8時まで
 開催場所 社会福祉法人あさみどりの会 さわらび園 3階カウンセリングルーム
 出席評議員 鶴飼信孝、坪内勝彦、野々山郁、綱木みどり、浅井勉、青山達雄、
 (欠席評議員) 手嶋雅史、森弘典
 出席理事 島崎徹也、追分伸夫
 議 事 第1号議案 平成29年度予算の一部補正について
 第2号議案 平成28年度事業報告について
 第3号議案 平成28年度決算について(監事監査報告含む)
 第4号議案 定款・諸規程の改正について
 第5号議案 平成29年度次期理事の承認について
 第6号議案 その他について
- ②開催日時 平成29年11月24日(金) 午後6時00分から7時20分
 開催場所 社会福祉法人あさみどりの会 さわらび園 3階カウンセリングルーム
 出席評議員 鶴飼信孝、坪内勝彦、浅井勉、綱木みどり、野々山郁、青山達雄
 (欠席評議員) 手嶋雅史、森典彦
 (欠席監事) 小林博義、菅沢豊
 出席理事 島崎徹也、追分伸夫
 議 事 第1号議案 平成29年度予算一部補正について
 第2号議案 諸規程の改定について
 第3号議案 その他について

- ③開催日時 平成30年3月23日(金)午後6時00分から7時50分
 開催場所 社会福祉法人あさみどりの会 さわらび園3階カウンセリングルーム
 出席評議員 鵜飼信孝、野々山郁、浅井勉、綱木みどり、青山達雄、坪内勝彦、手嶋雅史
 (欠席評議員) 森弘典
 出席理事 島崎徹也、追分伸夫
 議 事 第1号議案 平成29年度予算一部補正について
 第2号議案 平成30年度事業計画について
 第3号議案 法人分割について
 第4号議案 平成30年度予算について
 第5号議案 平成30年度法人内人事について
 第6号議案 諸規程の改定について
 第7号議案 その他報告事項等について

(3) 施設長会<全15回開催>

4月12日、5月17日、6月2日、7月3日、8月8日、9月1日、9月24日
 11月8日、11月19日、12月7日、1月15日、1月22日、1月28日
 2月2日、3月12日

(4) 施設長・主任会<全4回開催>

4月27日、7月11日、11月16日、1月22日

(5) 職種別部会

支援スタッフ部会：開催無／共同生活事業所スタッフ部会：11回開催(うち1回他事業視察研修)
 居宅介護・相談支援スタッフ部会：開催無／事務担当者部会：開催無
 給食担当者部会：開催無／療育援助編集会議：施設長会議内で随時

(6) 委員会

- ①ボランティア活動委員会：22回開催(ボランティアスクール企画会議含む)
 ②療育活動委員会：研修事業部会7回開催／学齢児支援部会5回開催
 ③職員スタッフ活動委員会：職員研修部会11回開催／情報部会4回開催

2 事業

(1) 社会福祉事業 (各事業所報告参照…P9～)

(2) 公益を目的とする事業

ア) 療育援助事業

既存の諸制度の網の目からもれた部分等で、援助を必要とする障害児(者)および家族・団体への援助を行い、家庭療育・地域療育の促進をはかるため次の事業を実施した。

① 療育相談

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	11	5	5	5	4	12	5	18	5	5	7	17	99
わらび福祉園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
べにしだの家	1	3	2	2	0	3	0	0	0	1	2	0	14
れいんぼうワーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	12	8	7	7	4	15	5	18	5	6	9	17	113

①-2 年齢別内訳

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6歳未満	11	5	5	5	4	12	5	18	5	5	7	17	99
6歳以上	1	3	2	2	0	3	0	0	0	1	2	0	14
計	12	8	7	7	4	15	5	18	5	6	9	17	113

② 在宅心身障害児の家庭療育援助および各地療育グループの援助

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	8	21	20	28	30	18	27	32	29	12	19	12	256
対象人数	102	123	138	192	185	142	133	171	184	113	207	72	1762
援助者数	45	89	98	124	205	153	188	124	194	53	97	120	1490

【療育グループ活動状況（6団体）】

グループ名	主 な 活 動	代表者
同朋大学心身障害福祉研究会	つばみの会・千種青年学級・千種区手をつなぐ育成会等における療育援助活動	武田 紗季
新池子どもクラブボランティア	地域の小中学生及び障害児を対象とした療育援助活動	矢野 詩織
南山大学ボランティアサークル	児童養護施設溢愛館・若水授産所・フロアバレー・あさみどりの会等における療育援助活動	本多 李菜
椋山女学園大学うえるかむ	あさみどりの会等における療育援助活動	安達 日奈子
婦人ボランティアさわらびグループ	さわらび園における療育援助活動	芦田 かよ子
なないろコンサート	なないろ（福祉）コンサートの企画、開催	伊東 宏崇
ボランティアスクール企画委員会	ボランティアスクールの企画	伊東 宏崇

③ 療育グループ

③-1 学童療育グループ（しんいけ子どもクラブ等でのフォローを含む）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	2	7	5	5	1	3	3	5	4	7	5	2	49
参加人数	52	62	44	47	3	24	43	42	46	59	64	44	530
ボラ参加	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

③-2 乳幼児療育グループ

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施回数	6	8	8	6	1	8	10	10	6	7	8	4	82
参加人数	78	104	115	87	5	116	138	169	125	150	126	108	1321
ボラ参加	4	13	14	8	0	9	15	17	9	20	6	6	121

④ 母親研修会(心身障害についての基礎学習、年10回 延べ259名)

月日	テーマ	講師（敬称略）	参加人数
4/28	子どもと一緒に歩むということ	さわらび園園長 島崎 徹也	24
5/25	からだも心もリフレッシュ ～レクリエーションを通して～	レクリエーション・インストラクター 中野 則恵	24
6/16	子どもの発達を知る	石井クリニック院長 石井 卓	26
7/10	母として悩み、喜び、実感してきたこと ～体験発表～	さわらび園卒園児のお母さん	35
9/12	子どもの心を見る目 ～子どもの絵とおかあさんのあい～	愛知淑徳大学心理学部教授 後藤 秀爾	26
10/30	さわらび園で出合った子どもたち ～ボランティアから保育士へ、そして今～	いぶき保育園園長 田中 善美 希望ヶ丘保育園園長 島崎 佳子 新池保育園園長 植田 敦子	28
11/27	関係の中の自分と出会う	南山大学人文学部心理人間学科講師 池田 満	27
12/8	特別支援教育のいま	守山養護学校特別支援教育コーディネーター 岡部 直樹	26
1/19	くらしと自立について ～共に生きる中で～	べにしだの家グループホーム 利用者さん・世話人さん	26
2/16	大人になるということ	べにしだの家所長 追分 伸夫	17

イ) ボランティア育成事業

社会人の生涯学習とのかかわりの中で生きがいを求め、人の役に立ちたいという人々のニーズに応え、社会活動参加への基礎的専門的学習の機会を設け実践活動への方向づけを行った。

① なないろコンサート(12月9日/同朋大学成徳館ホール/参加者164名/ボランティア等84名)

② あさみどりボランティアサークル連絡協議会

	会議内容	出席者	参加人数
4月16日	あさみどりの会のボランティアについて ボランティアサークル、個人ボランティアの紹介 法人各事業所年間行事予定の案内 ボランティアスクールの案内/情報交換	ボランティアサークル4団体 6名 個人ボランティア 1名 法人職員 8名	15

③ ボランティア・スクール(年1講、中日新聞社・中日新聞社会事業団共催)

第73回(5講座 受講者83名・延べ参加人数109名)

月日	テーマ	講師(敬称略)	参加人数
10 18	未来に生きるボランティア ～少年たちとの出会いの中で～	二村綜合法律事務所 弁護士 長谷川 雄一	15
10 25	IKIZAMA ～無脳薬ミュージシャンが語る人生～	無脳薬ミュージシャン 高松 信友	30
11 1	Hello,world ～その先に見えるもの～	貝谷 京子	21
11 3	べにしだ祭 ～ボランティア体験～	べにしだの家 職員	8
11 25	誰でもわかるアウトリーチ ～声かけから始まるつながり～ 交流会	特定非営利活動法人 全国子ども福祉センター 理事長 荒井 和樹	35

④ ボランティアグループの育成(サークル助成金)

月日	助成団体	活動回数	助成金額
4 16	同朋大学心身障害福祉研究会・新池子どもクラブボランティア・南山大学ボランティアサークル・ボランティアスクール実行委員会・相山女学園大学うえるかむ・なないろコンサート	療育援助事業及びボランティア育成事業に計上	各サークル 20,000円
10 30	同朋大学心身障害福祉研究会・新池子どもクラブボランティア・南山大学ボランティアサークル・ボランティアスクール実行委員会・相山女学園大学うえるかむ・なないろコンサート	療育援助事業及びボランティア育成事業に計上	各サークル 20,000円 ボランティアスクール企画委員会は 年間30,000円

⑤ ボランティア受入状況(行事参加等も含む)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	8	14	29	86	68	13	68	26	12	20	74	23	441
わらび福祉園	0	0	1	0	0	1	94	0	0	0	0	0	96
べにしだの家	0	3	1	0	70	1	2	51	3	2	2	1	136
あらくさ作業室	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	9
れいんぼうワークス	6	90	13	13	15	4	5	2	10	9	6	10	183
計	15	108	45	100	154	20	170	79	26	32	82	34	865

⑥ 学校実習・体験実習(障がいのある方等の受入れは除く)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
さわらび園	0	8	8	4	0	52	59	51	26	0	40	51	299
わらび福祉園	8	0	16	0	0	29	36	5	0	0	1	10	105
べにしだの家	6	18	3	24	50	65	16	23	35	36	58	89	423
あらくさ作業室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
れいんぼうワークス	0	0	0	0	14	19	18	32	14	0	0	0	97
計	14	26	27	28	64	165	129	111	75	36	99	150	924

ウ) 地域啓発事業

心身障害問題をはじめ、福祉活動に地域住民が直接参加し、また学ぶ機会を持つことによりコミュニティ・ケアの担い手となる人々の輪が広がっていくよう働きかけを行った。

① 機関誌『療育援助』の発行(月1回) □発行回数12回 □発行部数 毎回1,500部

配布数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
郵送数	411	420	419	419	419	419	420	420	420	419	418	417	5021
手渡数	950	810	800	840	800	850	820	840	790	800	950	800	10050

② 第55回心身障害問題を考える集い

「障害福祉施策の課題と展望」ウインクあいち

月日	テ ー マ	講 師 (敬称略)	参加人数
6 18	障害福祉施策の課題と展望—共生社会の実現に向けて—/今 若い人たちがえがく福祉未来とは	筑波大学教授 小澤温 愛知淑徳大学教授 後藤秀爾	65

③ 第11回フォーラムあさみどり

月日	テ ー マ	講 師 (敬称略)	参加人数
5 21	「繋がる支援、広がる絆」 ～障害者と家族と支援者が共に歩んでいくための道しるべ～	社会福祉法人横浜やまびこの里 障害福祉事業部長 小林信篤	105

④ れいんぼう祭(5月28日 ボラ73名)

⑤ しんいけ盆おどり(7月22日 さわらび園 ボラ70名)

⑥ べにしだ盆踊り(8月11日 ボラ55名)

⑦ わらび秋まつり(10月7日 ボラ94名)

⑧ さわらび運動会(10月8日 会場:さわらび園横どんぐり広場 ボラ42名)

⑨ べにしだ祭(11月3日 ボラ51名)

⑩ さわらび祭(2月11日 ボラ56名)

⑪ あらくさパンバザー(月1回 ボラ0名)

⑫ しんいけ子どもクラブ(年間10回 延べ13日 参加人数342名、ボラ53名)

月日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数
4 9	オリエンテーション レクリエーション	39	1
5 14	ワークショップ ～竹で遊ぼう～	44	1
6 18	キャンプ説明会	27	0
7 2	デイキャンプ	40	5
7 27	わいわいキャンプ(～7/30)	29	1
9 10	キャンプ報告会	27	1
11 26	みんなで作ろう	34	11
12 24	クリスマス会	35	12
1 14	わいわいゴミ拾い!	28	7
3 11	お別れ遠足	39	14

⑬ 施設の地域解放

施設	利用団体	回数
さわらび園	バイオリン教室、町内会	31
わらび福祉園	町内会	1
べにしだの家	町内会、地域団体、ボーイスカウト、地域住民、音楽グループ、ヨガ教室等	13
(あらくさ)	(利用無)	0
れいんぼうワークス	(利用無)	0

⑭ らいぶ游（年間5回 ベにしだの家 参加366名、うちボラ100名）

月日	テ ー マ	参加人数	ボラ参加数【出演】
4 22	手作りバリアフリーライブハウス「何でもありのライブⅠ」	68	10 (1)
6 25	手作りバリアフリーライブハウス「何でもありのライブⅡ」	51	15
8 26	手作りバリアフリーライブハウス「ワダカマリも越えて」	63	21
10 14	手作りバリアフリーライブハウス「なんでも御座れ」	47	13 (2)
12 17	手作りバリアフリーライブハウス「クリスマス会」	62	17 (9)
2 24	手作りバリアフリーライブハウス「ゴチャゴチャ混ぜ混ぜらいぶ・ゆう」	75	24

⑮ 障がいのある方の生活を支える支援者養成講座（3回・受講者全42名）

月日	テ ー マ	場 所 ・ 講 師	参加人数
9 2	第6回障がいのある方の生活を支える支援者養成講座	べにしだ共同生活援助事業所職員	29
12 2	第3回障がいのある方の生活を支える支援者養成講座	れいんぼう共同生活援助事業所職員	11
12 2	第6回障がいのある方の生活を支える支援者養成講座	わらび共同生活援助事業所職員	2

エ）野外活動事業

あさみどりの会研修所「郡上山の家」の運営を通して、人間と自然とのふれあい、合宿による人間同士のふれあいを通して真の人間性の回復をはかった。（詳細は事業所報告参照）

さわらび園親子療育キャンプ／わらび福祉園山の家合宿／あらくさ作業室山の家合宿／れいんぼうワークス山の家合宿
りとり・ジョイフル親子療育キャンプ／新池子どもクラブ・サマーキャンプ／学童合宿

オ）家族の支援活動

障害をもった子どもの生涯の幸せを願って、計画的に活動する保護者のグループを支援した。5月21日後援会役員会にて各グループの情報交換を行った。又、各事業所で「きょうだい会」年2回（うち1回は成人施設合同）等を行い、家族との交流をはかった。

（3）職員研修

①法人全体研修

ア）4月8日（会場：さわらび園 80人参加）

- I）講演：“療育”という仕事 ～「私が育ち、あなたが育つ」連鎖をつくる～（後藤理事長）
- II）専務理事より：あさみどりの心 ～あさみどりの会の原点～（島崎専務理事）
権利擁護と意思決定支援（迫分専務理事）

III）接遇研修・ワールドカフェ研修

イ）9月3日（会場：べにしだの家 73人参加）

- I）不安を抱える力になることやもの ～正しく理解することの意味について～（後藤理事長）
- II）各事業所代表による事例発表

②法人が主催または後援する啓発事業参加

フォーラムあさみどり、心身障害者問題を考える集い、ボランティアスクール等職員研修の一環として、職員の参加を勧めた。

③初級職員研修（7月9日 れいんぼうワークス 17人参加）

内容：グループワーク（ビストロあさみどり～理想の給食～）と発表

④ホーム新人世話人研修（5月13日 ベにしだの家 17人参加）

内容：講義（GHについて・支援について・障害特性）と実技（救急救命）

⑤4年目研修（実施なし）

⑥中・上級職員研修（実施なし）

⑦インシデント・プロセス研修 さわらび園／年8回開催／講師：小野宏氏（豊田西病院医師）

⑧事例検討勉強会

○講師：小林信篤氏（横浜やまびこの里）

わらび福祉園：5月19日・20人参加／7月7日・5人参加／11月10日・17人参加

- 1月26日・17人参加
 れいんぼうワークス：7月7日・15人参加／9月9日・17人参加／11月10日・8人参加
 1月27日・13人参加
 ○講師：小野宏氏（豊田西病院医師）
 べにしだの家：8月31日・15人参加／10月5日・11人参加／3月8日・10人参加
 わらび福祉園：5月12日・8人参加／6月9日・12人参加／7月14日・12人参加
 9月8日・10人参加／11月21日・10人参加／12月8日・9人参加
 2月23日・7人参加／3月9日・7人参加

⑨各施設におけるその他の研修活動 各事業所報告等参照

⑩外部研修への参加 各事業所報告等参照

⑪社会福祉士・介護福祉士の資格取得の奨励 1人

（４）苦情処理状況

法人経営の各施設・事業の提供する福祉サービスに対する苦情処理については、平成13年施行の「福祉サービスに関する苦情解決規程」により処理することとしているが、その場で解決するものについてはこの規程を適用せず、関係者に伝達し協議する必要があるものは「苦情処理票」によって処理することとしてきた。平成27年度に、苦情処理票により処理をした件数は下記のとおりである。

		さわらび	わらび	べにしだ	れいんぼう
苦情処理票等により処理した件数		0	1	3	0
申 出 者	利用者本人	0	0	0	0
	利用者の家族	0	0	1	2
	近隣住民・その他	0	1	2	0
内 容	利用者に対する職員の対応	0	0	3	1
	利用者に対するサービス向上	0	0	0	0
	利用者の生活環境の改善	0	0	0	1
	施設・事業運営に対する不満	0	1	0	0
	その他	0	0	0	1
方 法	職員・施設長と解決策を協議	0	1	2	2
	要望どおり解決できないことを説明	0	0	1	0
結 果	解決の方法・内容に納得した	0	1	0	1
	解決の方法・内容に不満がある	0	0	3	0
	処理結果を職員に周知する	0	0	3	1

苦情処理した件数はさわらび園については0件、べにしだの家3件、わらび福祉園1件、れいんぼうワークスは2件であった。

各施設とも苦情処理票によらない苦情についても職員に周知し、同様の問題が起きないように対処していくとともに、ヒヤリハット等の取り組みも継続していきながら、職員一人ひとりの意識向上を図っている。

1. 総括

【さわらび園】

年度当初は新入園児が18名と園児の半数以上を占めた。特に新入園児を主体としたクラスに関しては、情緒の安定と共に母子との信頼関係の構築が第1期の主な目標となったが、日々の療育やカウンセリング、個別相談、宿泊療育や療育キャンプ等の宿泊プログラムを通して、第2期には母子共に安定して通える状況になっていった。また、1年間を通して子ども一人ひとりの成長を母親自身が実感し、具体的な目標や自身のあり方に対する問題意識が芽生えたことで、新入園児18名中14名は30年度も継続ということにつながった(退園の4名中2名は転勤、2名は幼保就園)。29年度の卒退園に関しては、6名が就学、6名が就園(内転勤が3名)で送り出した。

他の事業では、放課後等デイサービスを9月1日付で事業廃止(名古屋市民間児童発達支援センター運営費補給金(民調)の関係で児童発達支援との一体運営は認められないということで市から指示)したが、利用児が全員卒園児ということもあり、学童療育のクラブ活動と位置付け、「放課後クラブ」として継続することになった。また、新たな試みとして、3月から「盆踊り実行委員会」を立ち上げ、学生ボランティアに加え、卒園児(中学生以上、社会人)も参加し、30年度7月の新池盆踊りまでのプロセスを歩む企画を進めている。

全体的な今後の重点課題として、一つ目は入園調整も含めて東部地域療育センターとの連携が十分とは言えず継続課題になっていることと、二つ目は職員の療育スキルの向上(人材育成)、三つ目は相談支援や保育所等訪問支援などの地域支援(アウトリーチ)の取り組みを広げていくことがあげられる。

【べにしだの家】

このところ数年来、加齢に伴う高齢化対策が課題となっており、より個別状況に照らした支援の中身が問われてきていると感じている。昨年度アルツハイマー型認知症の診断を受けた3名の方に幸い大きな状況変化は見られていないが、近い将来急激に変化する可能性も予測される。生活上のリスクに配慮が必要な方も増えており、個別の状況に応じた支援技術、知識のスキルアップと共に、総合的な生活のプログラムも見直しが必要になってきている。継続的な検討課題としていきたい。

植物栽培装置「おあしすくん」の活動は、現状の日中活動との兼ね合いのため、日常的な取り組みとして軌道に乗せるまでには至っていないが、数名の職員を中心に四葉のクローバーを主な素材とした各種試作品は徐々に充実してきており、外部関係者へのPRも少しずつ広がっている。「おあしすくん」の有効活用を含めて高齢化対策に向けた日中活動のあり方について継続的に検討を重ねていきたい。

共同生活援助の神田ホームの世話人室を改修し、定員を6名から8名に増員した。将来の地域生活に資するための体験の場として計画的な活用につけていきたい。利用状況は年度末の時点で生活介護定員70名に対し68名、入所支援定員30名に対し25名、グループホーム定員44名に対し38名となっている。

【わらび福祉園】

生活介護事業については、4月採用の職員1名が一身上の都合により6月いっぱいで退職したため、急遽所々に有期契約職員を増員して対応することになった。そのようななかではあったが、生産活動の他に絵画・音楽療法・散歩に加えヒップホップダンス等、個々に合ったプログラムの充実を図った。

就労移行支援事業については、利用者が就職し利用者がいなくなることに加え、市内に事業所が開所したこともあり、29年度を持って廃止することにした。

就労継続B型事業については、市内の就労継続A型事業所より体験の機会をいただき、3人の方が

新たなる可能性を探る為、1週間のチャレンジワークを行った。また、しばらく販売を控えていた製菓は、近隣の商業施設での販売等を再開し、クッキーはみよし商工会より“みよしぶらんど”として認定された。

共同生活援助事業については、4月より6ホームとなったことに伴い、ホーム全体で引っ越しを行った。大きな変化ではあったが、特記するような出来事もなく安定した生活が続いている。家庭の事情での緊急利用希望が多かったが、30名以上の有期契約職員の協力もあり対応できた。

居宅介護事業については、身体や精神に障害がある方の利用希望が増えてきたこともあり、求められるサービスに対し、対応できるヘルパーが足りない。移動支援事業についても同じである。そこで、市内他事業所と共に人材確保のために、みよし市役所・みよし市障がい者自立支援協議会の協力を得てみよし市独自の移動支援従事者研修が行えるような仕組み作りを行った。

相談支援事業は、28年度は職員体制もあり縮小していたが29年度は通常に戻し、みよし市より委託事業を請け負っている。

全体的な今後の重点課題として、地域福祉の拠点として多様なニーズに応えられるよう、各事業のスタッフが障害特性（身体・精神も含む）や介護・医療に対する知識・技術のスキルアップがあげられる

【れいんぼうワークス】

生活介護事業所については、昨年に引き続き、利用者の特性に配慮し、個別の対応を進めることができた。例えば、音に敏感な利用者が働きかけによりイヤーマフを使用することで落ち着けるようになった。行事に関してもこれまで文字だけだったが顔写真を使ったパンフレットにすることで、いっしょにいくメンバーをわかりやすくした。1には退職する職員や転勤する職員の紹介をパワーポイントを使って説明。お別れ会の日程も含め、顔写真と文字で伝えた。また、職員体制としては、正規女性職員が8月で1名退職、10月から産休で1名不在となる中、有期契約職員を増員して対応し、こちらも顔写真を使ってシフトを張り出す等の工夫を行い、混乱はほとんどなかった。

活動内容については、音楽療法の成果を家族交流会で発表したり、土曜活動で室内運動会を行うなどの新しい取り組みもあったが、内職の作業量は全体に減少している。農作業も無肥料栽培が苦戦し、生産が伸びなかった。刺繍製品は近所の洋菓子店に作品を置かせてもらうなど、販売は広がりつつある。今後はクリーニングの縮小が見込まれており、新たな活動を幅広く検討していく必要がある。

共同生活援助事業所では、28年度末の全ホームの引っ越し後の暮らしの安定を図った。また、今後の週末対応も含め支援体制の厚みを増すため有期契約職員の増員を行った。年度末には、5つのホームで泊まり勤務は正規職員1名と有期契約職員5名で行うこと（1日につき）に移行できた。週末対応についてもその増員のおかげもあり、体制をとることができた。

全体として29年度は1年を通して外部講師による事例検討を行ったことで、支援の個別化、支援方法の幅の広がり等、れいんぼう全体でいい土壌が作れた。今後も引き続き支援のスキルアップはもちろん、他事業所との連携等地域を意識しながら活動を進めていくことが必要になっていく。

2. さわらび園の事業状況

(1) 障害児通所支援事業

1) 児童発達支援事業（園児）

①利用状況

○年齢・男女別（中途退園・入園を含む）

学年齢		2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	6	8	6	3	23	31
	女	1	2	1	4	8	
県	男	0	1	0	0	1	1
計		7	11	7	7	32	32

○月初日在籍数・開所日数・利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍	31	31	31	31	30	31	30	30	30	30	29	29	
日数	18	19	20	20	16	20	18	17	16	16	17	20	217
人数	400	460	443	417	188	496	464	379	387	371	386	449	4840

○主な障害 <ASD=自閉スペクトラム症>

障害名	男	女	計
ASD	17	6	23
知的障害	3	2	5
ダウン症	4	0	4
計	24	8	32

○通園区域別

名古屋市						市外(県外)	
通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数	通園区域	人数
千種区	16	名東区	14	東区	1	岐阜市	1

○K式発達検査実施状況(検査実施児童のみ)

DQ	20以下	21~35	36~50	51~74	75以上
人数	2	1	7	13	4

②29年度新入園児状況<途中入園も含む>

○年齢・男女別

学年齢		2才	3才	4才	5才	小計	総計
市	男	6	8	0	0	14	18
	女	1	2	0	1	4	
県	男	0	1	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	
計		7	11	0	1	19	19

○主な障害

障害名	男	女	計
ASD	9	4	13
知的障害	2	0	2
ダウン症	4	0	4
計	15	4	19

③29年度卒退園児状況(進路先・男女別)

進路先		特別支援学級	児童発達支援センター	保育園	幼稚園	未定	計
市	男	2	2	2	1	0	7
	女	4	0	0	0	1	5
計		6	2	2	1	1	12

④主な実施行事

4月		5月		6月	
4日	入園式・第1期始業式	1日	こどもの日行事	2~3日	宿泊療育①
		15日	新入園児歓迎会	10~11日	宿泊療育②
		19日	春の遠足(東山動物園)	20日	健康診断
				25日	父親参観日
7月		8月		9月	
7日	七夕行事 家庭訪問 夏期療育	17日~20日	親子療育キャンプ①		
		24日~27日	親子療育キャンプ②		
10月		11月		12月	
8日	さわらび運動会	4~5日	宿泊療育①	11/30・12/5	べにしだの家見学
13日	第2期始業式	11~12日	宿泊療育②	15日	報恩講
24日	秋の遠足	21日	健康診断	22日	クリスマス会
29日	父親参観日				
1月		2月		3月	
12日	もちつき	11日	さわらび祭	3日	学習発表会
26日	節分行事			12日	お別れティーパーティー
				21日	卒園式・母親送別会

		28日	第2期終業式
--	--	-----	--------

*その他：誕生会・歯科検診／月1回、母親研修会／年10回

＜主な行事の参加状況＞

ア) 親子宿泊療育＜さわらび園にて実施＞

○春の宿泊療育参加状況

第1回目 6/2(土)～3(日)

- ・参加対象：ぞう・パンダG
- ・参加母子：園児13名／母親13名
- ・その他：ボランティア2名
- ・職員：14名 <総数42名>

第2回目 6/10(土)～11(日)

- ・参加対象：きりん・コアラG
- ・参加母子：園児16名／母親16名
- ・その他：兄弟1名／ボランティア3名
- ・職員：13名 <総数49名>

○秋の宿泊療育参加状況

第1回目 11/4(土)～5(日)

- ・参加対象：ぞう・パンダG
- ・参加母子：園児14名／母親11名
- ・その他：ボランティア3名
- ・職員：15名 <総数43名>

第2回目 11/11(土)～12(日)

- ・参加対象：きりん・コアラG
- ・参加母子：園児12名／母親9名
- ・その他：ボランティア1名
- ・職員：14名 <総数36名>

イ) さわらび親子療育キャンプ＜岐阜県郡上市大和町小間見545「郡上山の家」にて＞

- ・日時：第1キャンプ 8/17(木)～20(日)・第2キャンプ 8/24(木)～27(日)
- ・保護者研修：(第1キャンプ) 熊谷かの子氏 / (第2キャンプ) 追分伸夫氏
- ・参加状況

	園児	母親	父親	兄弟	Vo	職員	その他	計
第1	14	14	12	9	26	12	3	67
第2	9	9	6	2	19	13	2	50
計	23	23	18	11	45	25	5	117

⑤保護者の学習

○母親の学習

- ・母親グループカウンセリング

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	5	5	10	5	4	5	5	8	5	6	5	5	68
延人数	63	60	117	47	44	50	55	91	56	72	49	50	754

- ・母親研修会(年10回) ・宿泊療育・キャンプ ・発達相談(園児実施/29名)
- ・ビデオによる療育説明(年4回実施)

○父親の学習

- ・父親参観日：6月25日(日) / 参加人数：26名 / 療育参観及び職員との話し合い
10月29日(日) / 参加人数：23名 / 講師：三輪浩成さん(H15年度卒園児父親)、伊藤竜二さん(H22年度卒園児父親)
- ・その他：親子療育キャンプ父親研修/フォーラムあさみどり(5月21日(日))
- ・各父親のグループ主催のイベント、学習会への参加

⑥その他(訪問による連携) 特別支援学級 12回/保育園 2回/幼稚園 3回

2) 放課後等デイサービス事業(平成29年8月31日事業廃止。9月以降は学童療育へ移行。)

＜利用状況＞

○契約者数(年齢・男女別)

学年齢	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	計	
市	男	4	1	0	4	4	3	2	5	4	0	3	41
	女	3	1	1	3	0	0	0	0	2	1	0	
県	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
計	7	2	1	7	4	3	2	6	6	1	3	42	

○開所日数及び利用延べ人数

月	4	5	6	7	8	計
日数	19	24	25	17	12	97

人数	54	60	84	56	58	312
----	----	----	----	----	----	-----

3) 保育所等訪問支援事業

〈利用状況〉

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		3才	4才	5才	計
市	男	1	3	5	9
	女	0	2	0	2
県	男	0	0	0	0
	女	0	1	0	1
計		1	6	5	12

○月別訪問件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
訪問	3	18	21	14	12	20	21	22	18	20	22	17	208
事前	7	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	10

○訪問先

訪問先	保育園	幼稚園
箇所数	6	2

(2) 障害児相談支援事業

【利用状況】

○契約者数（年齢・男女別）

学年齢		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	17	計
市	男	3	6	9	12	14	10	8	7	4	2	1	0	0	76
	女	0	3	2	9	7	5	4	2	2	1	1	1	1	38
計		3	9	11	21	21	15	12	9	6	3	2	1	1	114

○月別相談件数（基本相談及び事業所との連携）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
本計画	64	13	12	7	7	8	7	11	12	7	11	15	174
モニタリング	0	8	18	26	17	20	12	19	7	9	15	14	165

(3) 療育グループ事業

1) りとるぐるうぷの状況 *29年度利用者は52名。園児への移行は6名。内、入園決定後のグループ移行は、4名。

○年齢・男女別

学年齢		0才	1才	2才	3才	小計	総計
市	男	0	8	27	1	36	
	女	0	5	9	2	16	
計		0	13	36	3	52	

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	17	21	24	28	27	24	30	33	38	40	43	44

○通園区分（29年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	22	名東区	27	瑞穂区	2	緑区	1

○主な障害（29年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD（疑い含む）	11	1	12
ADHD（疑い含む）	1	0	1
知的障害	4	2	6
言語発達遅滞	5	1	6
境界域	1	0	1
定型発達	1	1	2
不明	1	1	2
未受診	12	10	22

計	36	16	52
---	----	----	----

○療育回数及び出席延人数（8月はキャンプ：日数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	4	4	3	4	4	5	5	3	4	4	2	45
延人数	32	52	67	41	12	71	91	111	76	104	93	71	821

○母親グループカウンセリング（8月はキャンプ：回数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	1	1	0	2	1	0	2	2	2	2	0	13
延人数	0	13	15	0	6	17	0	22	26	24	25	0	148

2) 親子教室「ジョイフル」の状況 *28年度利用者は33名。内、園児への移行は0名。

○年齢・男女別

学年齢		3才	4才	5才	小計	総計
市	男	8	8	12	28	37
	女	2	5	2	9	
県	男	0	1	0	1	2
	女	0	0	1	1	
計		10	14	15	39	39

○月初日在籍数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
市	33	33	32	32	32	33	34	34	35	35	35	35
県	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2

○通園区分（29年度利用者）

区域	人数	区域	人数	区域	人数	区域	人数
千種区	15	名東区	20	守山区	1	瑞穂区	1
春日井市	1	長久手市	1				

○主な障害（29年度利用者）

障害名	男	女	計
ASD	17	3	20
ADHD	3	2	5
知的障害	1	1	2
境界域	0	1	1
言語発達遅滞	6	0	6
運動発達遅滞	0	1	1
不明	2	2	4
計	26	9	39

○療育回数及び出席延人数（8月はキャンプ：日数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	3	4	4	3	4	4	5	5	3	3	4	2	44
延人数	46	52	48	46	8	45	47	58	49	46	33	37	515

○母親グループカウンセリング（8月はキャンプ：回数・参加人数／延べ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	0	2	2	0	2	2	1	2	0	1	2	0	14
延人数	0	22	17	0	4	24	4	23	0	12	17	0	123

【年間実施行事（りとるぐるうぷ(L)・親子教室ジョイフル(JA/JB)）】

4月	7月	8月
12日 始業式(L/JA) 19日 始業式(JB) 26日 こどもの日行事	5日 七夕行事	3日～6日 親子療育キャンプ
10月	12月	1月
8日 さわらび運動会 18日 第2期始業式(L)	20日 クリスマス会	31日 節分行事

2月	3月	
11日 さわらび祭	14日 終業式(L/J)	

【りとる・ジョイフル親子療育キャンプ参加状況】

日時：8/3(木)～6(日) 場所：岐阜県郡上市大和町小間見5 4 5 郡上山の家 保護者研修：島崎徹也

参加者	児童	母親	父親	兄弟	Vo	職員	その他	計
人数	8 (学3)	8 (学3)	6 (学3)	3	9	12	1	46

3) 学童療育の状況

○年齢・男女別

学年		1	2	3	4	5	6	中1	中2	中3	小計	総計
市	男	8	8	3	9	4	3	5	4	5	49	70
	女	6	3	3	3	1	3	0	0	2	21	
県	男	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	3
	女	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
計		14	11	6	13	5	6	5	6	7	73	73

○29年度新規学童入所 ・名古屋市 14名

○療育(放課後クラブ含む)およびグループカウンセリングの実施状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
療育	回数	1	6	4	3	4	2	3	4	3	6	5	1	42
	人数	49	59	42	42	8	22	43	39	43	57	64	41	509
G	回数	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	0	32
	人数	22	27	18	15	4	14	16	20	13	15	13	0	177
クラブ	回数						14	16	13	11	13	11	15	93
	人数						58	71	62	54	53	48	72	418

*8月は療育Gキャンプの数字

○学校種別 ・特別支援学級 51名 ・特別支援学校 6名 ・通常学級 16名

○その他 ・8/3～8/6 療育Gキャンプに3名の学童が参加

・母親の会合宿(全14回/参加者:児童45名(一部は親子合宿)、職員派遣9名)

・小学生合宿 7/15(土)～17(月・祝) 場所:郡上山の家 参加者:小学生7名、職員5名

・中学生合宿 9/15(金)～18(月・祝) 場所:郡上山の家 参加者:中学生10名、職員2名、ボランティアスタッフ2名

・新池子どもクラブ(月1回・年1回のキャンプ)に3名の児童が参加

・学童療育母親学習会 2/20(火) 参加者:5名

「あたりまえにくらすこと、はたらくこと」

講師:小西 浩文 氏(みよしはたらく協議会 はたらくサポートセンター 相談支援専門員)

熊谷 かの子 氏(わらび福祉園 園長)

(4) 職員研修及び職員派遣

1) 職員研修

○施設内研修(法人事業報告参照)

○施設外研修 児童発達支援施設現任職員研修会等・東海地区職員研究大会・全国職員研究大会等

名障連・名古屋市関係:専門研修・基礎研修・中堅職員研修・職種別研修・施設見学等

施設長研修:福祉協会関係・名古屋市及び社会福祉協議会関係・児童発達支援部会関係等

2) 職員派遣

○名東保健所(乳幼児発達相談):毎月第3水曜日午前/心理判定員(平野飛鳥)派遣

○千種保健所(親子教室):毎月第2火曜日午前/心理判定員(大澤夕佳)派遣

○コアラの会(千種区親の会):毎月第2木曜日午前/相談員(渡邊友子)派遣

○千種区障害者自立支援協議会定例会及び子ども部会:毎月第2水曜日午前(・毎月第3火曜日午前運営会議)

○名東区障害者自立支援協議会 そだつ部会(児童部会):毎月1回

○父親のグループ(29年度)

・フォルテ(会員:9名/児童年齢:18～27才)…活動:例会・学習会等

・クラブヤジオ(会員:約18名/本人年齢:11～17才)…活動:例会・学習会等

・かたつむり（会員：約 21 名／本人年齢：7～10 才）…活動：例会・学習会等

3. 成人各施設の事業状況

(1) 日中活動利用者状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

1) 日中活動利用者

①年齢層・性別 < () は内 65 歳以上の利用者>

	年 齢 層						性 別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
わらび福祉園	0	14	11	10	9	1	38	7	45
べにしだの家	1	4	33	20	6	4(1)	41	27(1)	68
れいんぼうワークス	0	7	14	2	0	0	17	6	23
計	1	25	58	32	15	5(1)	96	40(1)	136

②障害支援区分 < () は内 65 歳以上の利用者>

	障 害 支 援 区 分						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
わらび福祉園	0	3	15	11	16	0	45
べにしだの家	0	3	17	17(1)	31	0	68
れいんぼうワークス	0	0	5	12	6	0	23
計	0	6	37	40(1)	53	0	136

2) 入所・共同生活援助事業利用者

①年齢層・性別 < () は内 65 歳以上の利用者>

	年 齢 層						性 別		計
	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	男	女	
わらび共同生活援助事業所	0	0	8	9	9	1	24	3	27
べにしだの家（施設入所支援）	0	2	5	12	3	3(1)	15	10(1)	25
べにしだ共同生活援助事業所	1	1	15	18	2	1	24	14	38
れいんぼう共同生活援助事業所	0	10	18	2	0	0	21	9	30
計	1	13	46	41	14	5(1)	84	36(1)	120

②障害支援区分 < () は内 65 歳以上の利用者>

	障 害 支 援 区 分 別						計
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	未判定	
わらび共同生活	0	0	5	9	13		27
べにしだ入所	0	0	4	7(1)	14		25
べにしだ共同生活	0	2	12	7	17		38
れいんぼう共同生活	2	2	8	12	6		30
計	2	4	29	35(1)	50		120

(2) 月別利用状況

1) 日中活動（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

【わらび福祉園】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	22	23	23	22	23	22	23	23	20	23	269
生活介護(定員 32 名)	38	37	39	37	38	38	38	38	37	36	38	39	38
就労移行(定員 6 名)	1	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1
就労継続 B(定員 10 名)	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	21	24	23	22	21	22	23	23	21	21	21	23	265
生活介護(定員 70 名)	66	65	65	65	65	66	65	65	66	66	66	65	65

【れいんぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開所日数	22	23	23	21	23	22	24	23	22	22	21	23	269
生活介護(定員 20 名)	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22

2) 入所・共同生活援助（一日の平均利用状況：小数点以下切り捨て）

【わらび福祉園】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員28名)	20	20	22	21	21	21	20	22	21	20	21	22	21

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
施設入所(定員30名)	23	23	23	23	22	24	23	23	23	22	23	23	23
共同生活援助(定員42名)	32	33	33	32	30	33	32	33	30	30	33	33	32

【れいぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
共同生活援助(定員30名)	21	21	23	20	22	22	23	23	21	21	20	22	22

3) 日中一時・短期入所（月毎延べ利用者数）

【わらび福祉園】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	14	15	15	32	56	0	1	0	3	0	0	8	144

【べにしだの家】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員4名)	23	20	19	42	49	19	24	20	24	22	22	26	308
短期入所(定員2+空床)	100	126	142	147	133	158	151	145	158	144	147	164	1713

【れいぼうワークス】	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
日中一時(定員5名)	8	11	7	11	12	7	8	7	5	9	6	6	97

(3) 相談支援事業

【わらび福祉園】（延べ件数）

委託事業	種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	基本相談	16	10	6	8	11	12	8	14	7	15	20	12	139
意向調査	0	0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	4	
自立支援協議会参加	4	12	5	6	3	7	7	8	7	7	8	6	80	
支援区分認定調査	0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	1	7	
調定調査意向調査	5	4	6	5	3	6	5	5	4	3	5	7	58	
インテーク	2	0	1	1	1	0	2	1	1	0	2	2	13	
アセスメント	10	15	9	6	6	6	5	8	7	5	5	5	87	
サービス等利用計画	3	3	3	2	0	4	5	1	3	4	2	7	37	
モニタリング	5	2	4	4	2	2	1	2	2	0	0	1	25	
個別支援会議	1	0	5	3	1	0	1	3	6	2	2	4	28	
計	46	46	41	36	29	38	35	42	39	37	44	45	478	

【べにしだの家】（延べ件数）

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
アセスメント	1	8	9	7	6	13	3	9	10	7	7	13	93
ケアプラン作成	16	1	8	9	7	6	13	3	9	10	7	7	96
モニタリング	6	17	20	18	12	21	9	13	16	21	14	26	193
個別支援会議	2	1	4	3	2	2	3	2	2	1	1	4	27
自立支援協議会参加	3	1	3	3	2	1	2	1	2	2	3	2	25
調定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	28	28	44	40	29	43	30	28	39	41	32	52	434

(4) 居宅介護事業

【わらび福祉園】 月別利用人数（人） 年間売上 16,644,985 円（前年比+1,687,393 円）

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害福祉サービス	7	8	8	8	8	8	9	10	10	9	10	9	104
移動支援	51	53	54	52	52	51	55	54	53	50	57	56	638

小 計	58	61	62	60	60	59	64	64	63	59	67	65	742
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(5) 作業実績

1) 作業室別・業者別売上

* () 内は前年度増減比 / (単位: 円)

【わらび福祉園】

第1作業室／単能盤による金属加工他		第2作業室／手作業で部品等の組付作業		第3作業室／焼き菓子の自主生産		合 計
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
村上製作所	4,843,708	三好化工	1,126,810	お祭り等	231,965	9,002,802 (+954,501)
ウェルビー	386,370	IRT	808,056			
中部精工	271,183	イヌヨ製菓	173,700			
塚本製作所	734,940	自主製品	188,180			
みよし西一色区	11,500	野菜	14,390			
		アティックアート	212,000			
	6,247,701 (+177,510)		2,523,136 (+738,276)		231,965 (+38,715)	

【べにしだの家】

第1作業室／クリーニング・自動車部品検査		第2作業室／自動車部品検査		第3作業室／自動車部品組付		ゆう作業室 心身機能の維持増進
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
クリーニング(一般他)	3,392,562	そうぎょう	861,388	三好化工	347,652	
ケイアイ加工	205,621	ギフト(分解作業)	22,906			
サンフラワー(分解作業)	9,544					
	3,607,727 (+133,928)		884,294 (-124,013)		347,652 (-55,296)	
あらいわい作業室／箱折り・自動車部品検査		あらくさ作業室／製パン・自動車部品検査		その他		合 計
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
岩田紙器	229,663	製パン	1,705,936	ゴミ袋販売	2,980	7,670,758 (-137,632)
そうぎょう	147,420	その他作業	552,783	おあしすくん	2,630	
ケイアイ加工	161,581					
T&M	9,200					
ブリリアント	18,892					
	566,756 (+65,197)		2,258,719 (-132,020)		5,610	

【れいんぼうワークス】

第1作業室／クリーニング		第2作業室／部品等の組付・検品作業		第3作業室／農作物生産・販売		合 計
業 者	売 上	業 者	売 上	業 者	売 上	
信濃工業	237,190	そうぎょう	740,167	マザーキッチン	27,308	2,069,273 (-169,358)
中部三菱自動車	32,832	吉田段ボール	28,800	学童オーナー	30,000	
一般その他	404,245	刺繍製品	198,270	その他一般	145,180	
公共関係	198,706	加賀悦商店他	26,575			
	872,973 (-38,893)		993,812 (-22,887)		202,488 (-153,352)	

2) 工 賃

	わらび福祉園	べにしだの家	れいんぼうワークス
平成29年度工賃支給総額	6,739,207	4,020,040	1,754,730
1人あたり支給月額 () 内前年比	12,342 (+731)	4,045 (-3,589)	6,358 (+29)
最高支給月額	37,330	15,800	7,860
〃 年額	493,812	183,950	97,810
最低支給月額 〃	623	360	2,380
〃 年額	24,485	9,110	42,680

※ 年額には、年2回の賞与が含まれている。

(6) 各施設活動状況

わらび福祉園

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	15～16日：郡上山の家合宿①（利用者8名） 22～23日：郡上山の家合宿②（利用者12名） 11日：父親懇談会（父親20名） 29～30日：郡上山の家合宿③（利用者8名）
6月	5～6日：郡上山の家合宿④（利用者14名）
7月	2日：「みんなの運動会」（愛知学院大）（利用者29名・家族4名）
8月	11日：そうめんパーティー（利用者40名） 12～15日：夏期休暇
9月	22～23日：親子一泊旅行①（長浜方面/利用者13名・家族13名）
10月	7日：わらび秋まつり 13～14日：親子一泊旅行②（長浜方面/利用者12名・家族8名） 27～28日：親子一泊旅行③（長浜方面/利用者13名・家族11名）
12月	2日：支援者養成講座（初級/参加者2名） 9日父親懇親会（父親11名） 28日：納会（利用者42名） 29日～1月3日：年末年始休暇
1月	13日：成人の祝い（フォレストヒルズ/利用者31名*うち成人式対象者2名・家族4名）
3月	30日：親の会総会

*その他：誕生会・親学習会・ブラッシング/約月1回

2) 健康管理

- ・健康チェック（看護師/毎週月曜日：体温・脈拍・血圧等/毎月第1月曜日：体重測定）
- ・予防接種（宇田クリニック/インフルエンザ希望者接種） ・口腔ケア（野々山歯科/毎月1回ブラッシング指導他）

3) 生活実習（プレホーム体験）

場所：わらび共同生活援助事業所

期 間	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	1	2	2	2	2	2	1	2	1	0	1	0	16

4) 家族との連携

- 学習会：全体を3班に分け、年に各班3回開催。
午前：法人関係者と話し合い 午後：宇田ファミリークリニック医師を含めての話し合い。
- 個別相談 ① 嘱託医相談 ② 随時個別相談に応じている。
- 自主活動
親の会を組織して活動するとともに、さわらび祭・わらび秋まつりのバザー出品のためにバザー班・フード班2班に分かれ手作り品を製作して施設運営の援助にあたっている。園からの情報提供、親たちの自由な意見交換を行う場として「ラポールの会」を設け、おおむね月1回の会合をもった。29年度はそのうち2回は外部講師を招き、将来を見据えた学習をする場を設けた。

5) 職員の活動

- 施設内各種会議の開催
 - ①スタッフ打ち合わせ（毎日：日中-利用者帰宅後に本日のケース等確認・明日の予定確認等グループホーム-利用者受け入れ前に日中よりの申し送り・シフト確認等）
 - ②ケース会議（随時：個別支援会議も含む）
 - ③全体会議（月1回：職員全員で運営方針検討・行事計画事業執行などを協議）
 - ④管理者系会議（月1回：園長・主任・主事・サビ管でその時々々の指針等確認）
 - ⑤ホーム会議（月1回：共同生活事業所総合管理責任者・園長・世話人で生活事業所運営・行事等確認）
 - ⑥工賃査定会議（年2回：日中スタッフ）
- 法人主催で行われる職員全体研修、リーダー研修、ケースカンファレンスに参加した。
- 施設内研修
インシデント・プロセス法によるケース検討会（5月・6月・7月・9月・11月・12月・2月・3月：小野宏Dr.）

事例検討研修等（5月・7月・11月・1月：小林信篤氏 横浜やまびこの里）

- d. みよし市障がい者自立支援協議会・知的障害者福祉協会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加。障がい福祉に携わる人のためのセミナー他みよし市内の研修に参加。豊田インシデント・プロセス研修（年複数回：豊田市2名）

全国知的障害関係施設長等会議（7月：東京1名）/全国グループホーム等研修会（8月：福井1名）
 全国知的障害関係職員研修大会（9月：名古屋3名）/日中活動支援部会全国大会（11月：東京3名）
 地域支援セミナー（11月：横浜1名）/日本グループホーム学会全国大会（7月：仙台2名）
 愛知県知的障害関係職員等研究大会（2月：豊橋2名）/中堅研修（6月：野間1名）
 基礎研修（11月：野間1名）

基

6) 学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受入状況

(延べ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	0	0	1	0	0	1	94	0	0	0	0	0	96

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
大学・専門学校等実習	8	0	16	0	0	29	36	0	0	0	1	0	90
見学者	4	4	7	15	8	2	1	5	2	0	16	1	65

※体験・実習校……東海学園大学、名古屋女子大、東海医療福祉専門学校、三好北中学校

- c. 地域交流 イベントの開催：わらび秋まつり / 地域のお祭りへの参加：三好下区祭・産業フェスタみよし

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

※生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
転倒・転落・衝突	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
自傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他害・物損	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
浴室内の危険	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身体拘束	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
計	1	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	6

べにしだの家

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
4月	1日：うま 15日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 19日：利用者健康診 22日：らいぶ游
5月	13日：うま 20日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー
6月	3日：うま/有期職員研修 17日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー/第46回自立をすすめる会（17名） 25日：らいぶ游
7月	1日：うま 15日：土曜活動/うま/あらくさ父親参観
8月	5日：うま 11日：べにしだ盆踊り 11～15日：夏期休日 19日：土曜活動/うま/あらくさレク 26日：らいぶ游
9月	2日：うま/ホーム支援者養成講座 7～8日：あらくさ一泊旅行①（USJ：利用者6名） 16日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 18日：ホーム家族懇談会
10月	11日：利用者健康診断 12～13日：あらくさ一泊旅行②（鳥羽温泉：利用者5名）

	14日：らいぶ游 21日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 25日：あらくさ日帰り旅行（東谷山フルーツパーク：利用者11名）
11月	3日：べにしだ祭 11日：うま 18日：土曜活動/あらくさバザー/第47回自立をすすめる会（18名）
12月	2日：うま 8日：母親懇親会 9日：うま 16日：クリスマス会/あらくさパンバザー 17日：らいぶ游 28日：納会・御用納め 29～31日：年末休暇
1月	1～3日：年始休暇 4日：仕事始め 6日：うま 20日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー/べにしだきょうだい会（わらびと合同、きょうだい・家族12名）
2月	2日：あらくさいチゴ狩り（利用者11名） 3日：うま 17日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー 24日：らいぶ游
3月	3日：うま 17日：土曜活動/うま/あらくさパンバザー

2) 健康管理

- * 血圧・体重測定（看護師）/随時
- * 健康相談（村上医院）/毎月1回
- * インフルエンザ予防接種（村上医院）/希望者接種
- * 健康診断（名古屋公衆医学研究所）/入所年2回・通所年1回
- * 訪問歯科診療（えびす歯科）/毎週金曜日
- * PT 訪問（たわだリハビリクリニック・リハプロ訪問看護ステーション/利用者4名・1名個別指導）

3) 生活実習（プレホーム体験） *29年度は実施なし

4) 家族との連携

- a. 保護者会（毎月1回）
- b. 保護者学習会（2班で構成し、1班あたり年4回実施。）
- c. バザー活動
2班で構成し、1班あたり年8回実施。バザー出品のために手作り品を製作して施設運営の援助にあたっている。
- d. 清掃当番活動（1回1名で生活棟の清掃。可能な方が減少し、1ヶ月延べ10名程度になっている。）
- e. 自立をすすめる会（年2回開催。父親同士が集まる活動を通して父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、事業の報告や障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。）
- f. 母親懇親会（年1回開催。日常的な交流機会が減少しつつある中、母親との親睦をより深めていくために実施。）
- g. 特定非営利活動法人「蒼の会」との情報交換（会議への参加及び被後見人4名の生活状況の情報交換を定期的実施。）

5) 職員の活動

- a. 各種会議
 - ① 毎日始業前の朝会（夜間の申し送り、一日の予定確認、指示事項等）
 - ② 生活棟会議（南・北棟別に月1回開催）
 - ③ 生活棟チーム会議（入所支援のチームごと必要に応じ開催）
 - ④ 作業室会議（月1回各作業室のケース、作業状況の情報交換、課題整理）
 - ⑤ ホームコーディネーター会議（各ホームの情報交換、課題整理）
 - ⑥ 運営会議（毎月1回、各部署のリーダーで総合的な情報共有、課題検討、調整）
 - ⑦ 虐待防止委員会（ヒヤリハット・事故・不適切対応報告書の整理と防止意識の共有）
 - ⑧ ホームスタッフ会議及び本体スタッフ会議（毎月1回予定、決定事項の確認、伝達、情報交換、ケース検討等）
 - ⑨ 給食会議（月1回、委託業者との情報交換、課題検討、調整）
- b. 法人主催で行われる職員全体研修、経験年数別研修、ケースカンファレンスに参加
- c. 施設内研修
救命救急研修（4月：トライハートなど）、感染症対策研修（看護師）、インシデントプロセス法によるケース検討会（8月、10月、3月：小野宏Dr.）
- d. 施設外研修
 - ① 福祉協会、名古屋市、名障連、社会福祉協議会等が主催する研修会への参加
全国知的障害関係施設長等会議（7月：東京・1名）
全国知的障害福祉関係職員研究大会（9月：名古屋・4名）

愛知県知的障害関係施設職員研究大会（2月：豊橋・2名）

その他：権利擁護・障害者虐待防止関連の研修（2名）

強度行動障害支援者養成講座（3名） 認知症介護基礎研修（3名）等

②他施設訪問研修

恵那たんぼば作業所（6月：2名）/森孝しぜんかん（7月：2名）/ひまわりの風（1月：2名）

6) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
べにしだ	0	3	1	0	70	1	2	51	3	2	2	1	136
あらくさ	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	0	0	9

b. 実習・見学

(延べ人数)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小・中・高生体験学習	0	0	0	0	12	0	10	3	3	16	10	26	80
大学・専門学校・社会人等実	6	18	33	34	38	77	6	20	32	20	48	120	452
見学者	0	0	5	6	1	0	1	1	19	1	17	16	67
合計													599

※体験実習校・施設 …同朋大学、日本福祉大学、愛知淑徳大学、修文大学短大部、名古屋芸術大学、岡崎短大、名古屋文化学園、海翔高校、西陵高校、豊正中学校、御田中学校、はとり中学校、港南中学校、山田東中学校

※その他実習・研修 …名古屋市新規職員研修、名古屋市障害福祉サービス事業新規参入者研修、ヘルパー現任研修、(株)エーザイ社内研修

c. 地域交流等

①らいぶ・ゆう

参加者種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
障害児・者	14	0	10	0	5	0	11	0	10	0	11	0	61
利用者家族	8	0	0	0	9	0	5	0	3	0	4	0	29
スタッフ	6	0	8	0	7	0	8	0	11	0	8	0	48
地域	25	0	15	0	21	0	20	0	34	0	25	0	140
その他	5	0	6	0	0	0	4	0	3	0	3	0	21
出演者	10	0	12	0	21	0	13	0	17	0	24	0	97
参加者計	68	0	51	0	63	0	61	0	78	0	75	0	396

②中村区民祭…10月28日（中村公園一帯） ③地域福祉講演会…2月17日（同朋大学D○プラザ）

7) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応(ホーム加える)

種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	1	5	5	2	1	2	1	4	2	1	4	1	29
転倒・転落・衝突	2	2	2	0	3	1	0	0	1	2	1	0	14
自傷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他害・物損	0	1	2	1	3	2	2	1	0	2	0	0	14
放置	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
無断外出・見逃し	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	4
異食・誤嚥	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	4
浴室内の危険	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
身体拘束	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他不適切対応	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
計	4	9	9	3	9	7	4	6	4	7	6	2	70

- ※ 報告件数は本体47件（前年度75件）、ホーム23件（前年度34件）の計70件だった。報告件数自体は減少している。本体は同数、ホームは8件増だった。
- ※ 服薬関連の報告件数も減少しているが、全体に占める割合は41%でこれまでと大差ない。（昨年度の占める割合は44%）
- ※ 身体拘束は作業中に利用者が高揚して自ら頭を床に打ち付けるためやむを得ず対応したもの。
- ※ その他不適切対応は、12月にながおさホームの鍵を紛失した件、2月に夜勤明けの新人職員が公用車運転中すれ違いざまに対向車とドアミラーが接触した件（同乗の先輩職員が運転を容認、利用者1名同乗）の2件。

れいんぼうワークス

1) 主な年間行事・活動

月	内 容
5月	13日：きょうだい会（きょうだい3名） 28日：第15回れいんぼう祭（ボラ73名）
6月	11日：施設内インシデント研修/小野先生（正職員14名参加） 17日：自立の会（父親19名母親1名） 28～30日：山の家合宿①（利用者9名）
7月	5～7日：山の家合宿②（利用者8名） 12～14日：山の家合宿③（利用者7名） 27日：利用者歯科検診
8月	11日：家族交流会（利用者24名と家族29名） 12～15日：夏期休暇
9月	
10月	13～14日：一泊旅行/伊勢方面（利用者24名）
11月	11日：れいんぼうきょうだい会（きょうだい1名） 17日：海部津島地域福祉作業所連絡協議会交流会（利用者22名）
12月	2日：支援者養成講座（参加者11名） 28日：納会
1月	4日：仕事始め 6日：初詣（土曜活動） 20日：自立の会（父親18名母親2名）
3月	7日：母親懇親会

2) 健康管理

- * 健康チェック（看護師/毎月2回：体温・体重測定記録の確認及び健康相談） * 予防接種（加賀医院/インフルエンザ希望者接種）
- * 健康診断・歯科検診（年1回） * ブラッシング指導（愛西市の歯科衛生士による指導/28年度から年4回訪問）

3) 家族との連携

- a. 保護者会および研修：保護者会は毎月1回開催。母親学習会は年3回開催。
- b. 個別相談：嘱託医相談は予約により時間調整して行うよう計画。その他利用者の状況に応じて随時個別相談に応じている。
- c. 自主活動：親の会を組織して活動するとともに、れいんぼう祭のバザー出品のために手作りの品を製作して施設運営の援助にあたっている。
- d. 自立の会（28年度より虹の会と一体になる）：父親同士が集まる活動を通じて、父親、職員相互の信頼と共感を深め、施設と協力して生涯の援助体制を確立していくために、障害者福祉の動向などについての学習と親睦の場として実施。

4) 職員の活動

- a. 施設内においては、①毎日作業終了後の打合会、②随時行うケース会議、③運営方針の確認・行事計画・事業執行などを協議する職員会議（月1回）④個別支援計画・モニタリング作成のアセスメントおよび計画策定会議を実施した。
- b. 法人主催で行われる職員全体研修、新人研修、ケースカンファレンスに参加した。
- c. 施設内研修として、横浜やまびこの里より小林信篤先生を講師にお招きし、年間4回の事例検討研修を行った。
- d. 知的障害者福祉協会・社会就労センター協議会・社会福祉協議会等が主催する研修会に参加した。
新規採用者研修（6月：1名）/中堅研修（6月：1名）/
強度行動障害支援者養成講座（6月：1名）/全国施設長会（7月：1名）
グループホーム学会全国研修（7月：1名）/全国グループホーム等研修会（8月：1名）
強度行動障害支援者養成講座（8月：1名）/社会就労センター部会研修（9月：1名）
全国知的障害福祉関係職員大会（9月：2名）/強度行動障害支援者養成講座（11月：1名）
強度行動障害支援者養成講座（12月：1名）施設長セミナー（1月：1名）
アメニティーフォーラム（2月：1名）/サービス管理責任者フォローアップ研修（2月：1

名) /愛知県施設職員研究大会 (2月:2名)

5) 地域との交流・学生等の実習受け入れ等

ボランティアの受け入れ及びれいんぼう祭、畑などの野外活動を通して地域住民との関係も深まり、声をかけられたり、見守ってもらえる環境が増えてきている。今後も野菜販売の機会などを通して近隣の方々とのふれあいを持ち、町内会の諸活動での施設の開放も働きかけていきたい。

a. ボランティアの受け入れ状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	90	13	13	15	4	5	2	10	9	6	10	183

b. 実習・見学等

(延べ人数)

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特別支援学校等作業実習	0	0	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	10
小・中・高生体験学習	0	0	0	2	16	0	0	0	2	0	0	0	20
大学・専門学校等実習	0	0	0	0	0	19	18	32	12	0	0	1	82
見学者	1	1	1	5	3	3	2	1	0	0	2	3	22

※体験・実習校・・・愛知教育大学、日本福祉大学、海翔高校

c. イベントの開催 第15回 れいんぼう祭 (5月28日)

6) ヒヤリハット・事故・虐待・不適切対応

種別 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
服薬関連	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
他害・物損	6	6	3	1	0	0	0	1	2	1	2	1	23
放置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無断外出・見逃し	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
転倒・転落・衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
その他不適切対応	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	4
計	6	6	5	1	2	0	1	1	6	1	2	1	32

※ 生活場面で起こる様々なリスクの可能性も予測しつつ、引き続き積極的な報告提出を奨励している。